

第18回笠岡市木山捷平文学選奨

木山捷平短編小説賞

受賞作品発表 令和5年1月26日

受賞作品 「 遠い入道雲 」 佐伯 厚子

プロフィール	
ふりがな	さえき あつこ
氏名	佐伯 厚子
ふりがな	
筆名	
住所	大阪府富田林市
年齢	65歳

第18回木山捷平短編小説賞は上記の作品に決定しました。

【あらすじ】

二十年前に夫が亡くなった時、息子が畑を人に貸してしまい、畑の二筋だけ米寿になってもフサは耕し、野菜を作っている。貸した畑にはビニルハウスが建てられ、技能実習生らしき若者らが働いていた。ある時、畑で転んだフサは若者の一人に助けられる。それから、若者に自転車を貸したり、畑を耕してもらったりし、片言のやりとりでお互い農家の生まれで五人兄弟だとわかる。が、ミャンマー出身の若者は、国が紛争になって帰れず兄弟の無事もわからないという。フサは、戦争で亡くなった団子鼻の兄の面影を若者に見出していた。同じ村に同級生で共に看護婦として空襲、戦争を体験した友人、留子がいた。けがをした留子を見舞った帰り、偶然、若者と川のほとりで出会い、ビルマでの兄の最期や自分の思いを語る。そこでフサはミャンマーとビルマが同じだと知って心が昂ぶったが、失意の若者を慮ってゆっくり知り合おうと決める。

応募総数 222編

最年少 15歳

最高齢 85歳